

## 「生涯学習の場の充実」についてのアンケート集計結果

県では、平成31年3月に「第3期滋賀県教育振興基本計画」を策定し、「すべての人が学び続け、共に生きるための生涯学習を振興する」ことに取り組んでいるところです。

本計画において県が目指す姿への到達状況について、成果や達成状況を把握するための数値目標を設定し、毎年点検・評価を行い、施策の展開に反映していきます。そこで「生涯学習の場の充実」に関する県民の方々の意識調査を目的として、アンケート調査を実施しました。

◆調査時期:令和3年12月

◆対象者:県政モニター 296人

◆回答数:240人(回答率 81.1%)

◆担当課:教育委員会事務局 生涯学習課

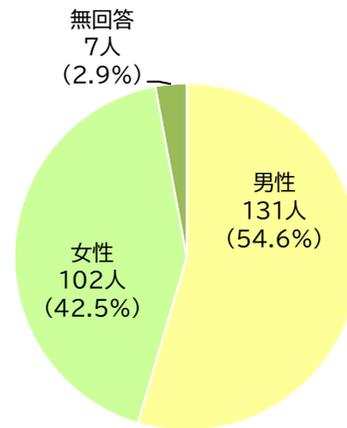
(※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。)

### 【属性】

#### ◆性別

項目	人数(人)	割合(%)
男性	131	54.6
女性	102	42.5
無回答	7	2.9
合計	240	100.0

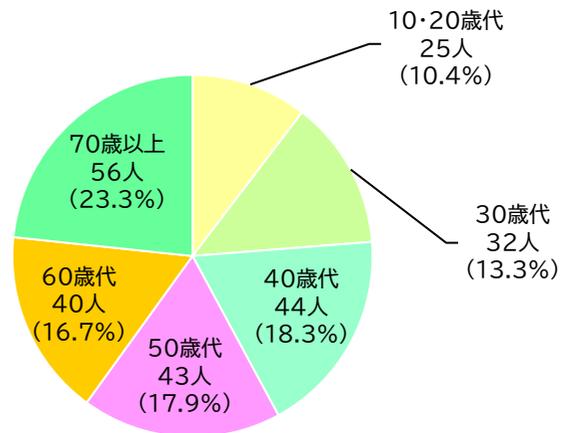
### 性別割合



#### ◆年代

項目	人数(人)	割合(%)
10・20歳代	25	10.4
30歳代	32	13.3
40歳代	44	18.3
50歳代	43	17.9
60歳代	40	16.7
70歳以上	56	23.3
合計	240	100.0

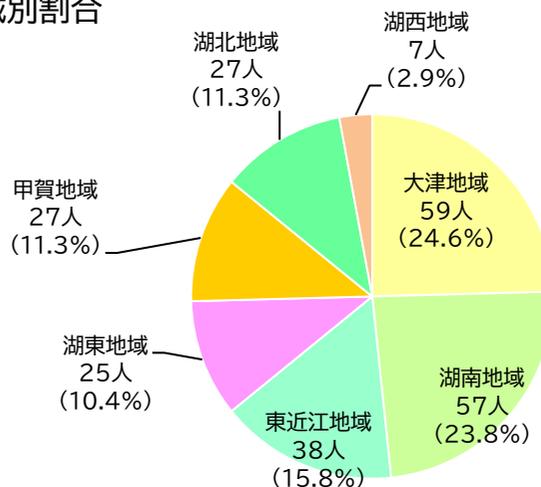
### 年代別割合



#### ◆地域

項目	人数(人)	割合(%)
大津地域	59	24.6
湖南地域	57	23.8
東近江地域	38	15.8
湖東地域	25	10.4
甲賀地域	27	11.3
湖北地域	27	11.3
湖西地域	7	2.9
合計	240	100.0

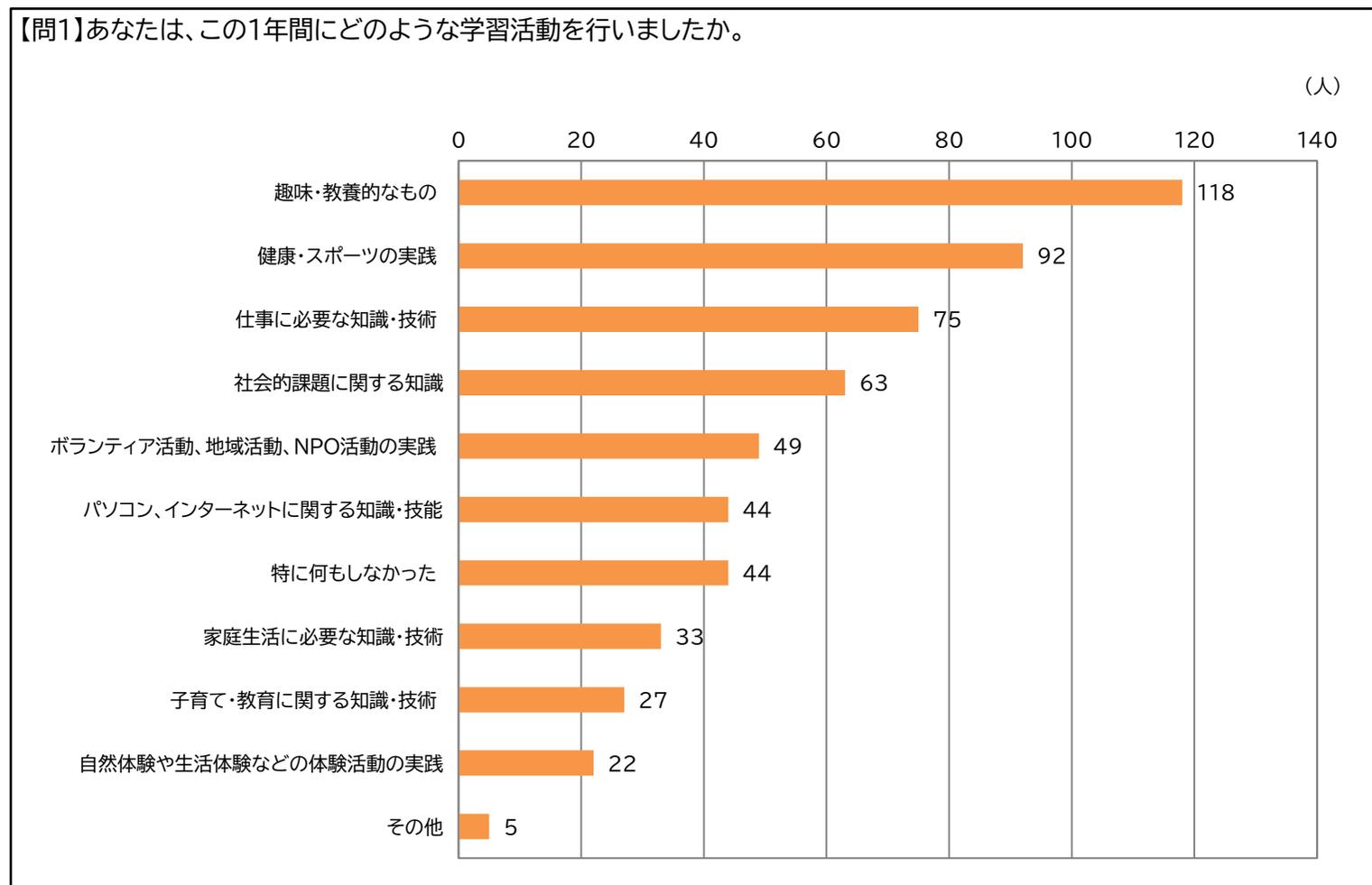
### 地域別割合



【問1】 あなたは、この1年間にどのような学習活動を行いましたか。  
 (「特に何もしなかった」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。n=240)

項 目	人数(人)	割合(%)
趣味・教養的なもの (音楽・美術・園芸・囲碁・将棋・写真・歴史・文化など)	118	49.2
健康・スポーツの実践 (健康法、ジョギング、水泳、体操など)	92	38.3
仕事に必要な知識・技術 (仕事や就職に関係する資格取得講座や知識の習得など)	75	31.3
社会的課題に関する知識 (環境、福祉・介護、人権、男女共同参画、少子高齢化、国際化、SDGsなど)	63	26.3
ボランティア活動、地域活動、NPO活動の実践	49	20.4
パソコン、インターネットに関する知識・技能	44	18.3
特に何もしなかった	44	18.3
家庭生活に必要な知識・技術 (料理、和・洋裁、日曜大工など)	33	13.8
子育て・教育に関する知識・技術 (家庭教育、幼児教育、青少年教育、教育問題など)	27	11.3
自然体験や生活体験などの体験活動の実践	22	9.2
その他	5	2.1

【問1】あなたは、この1年間にどのような学習活動を行いましたか。

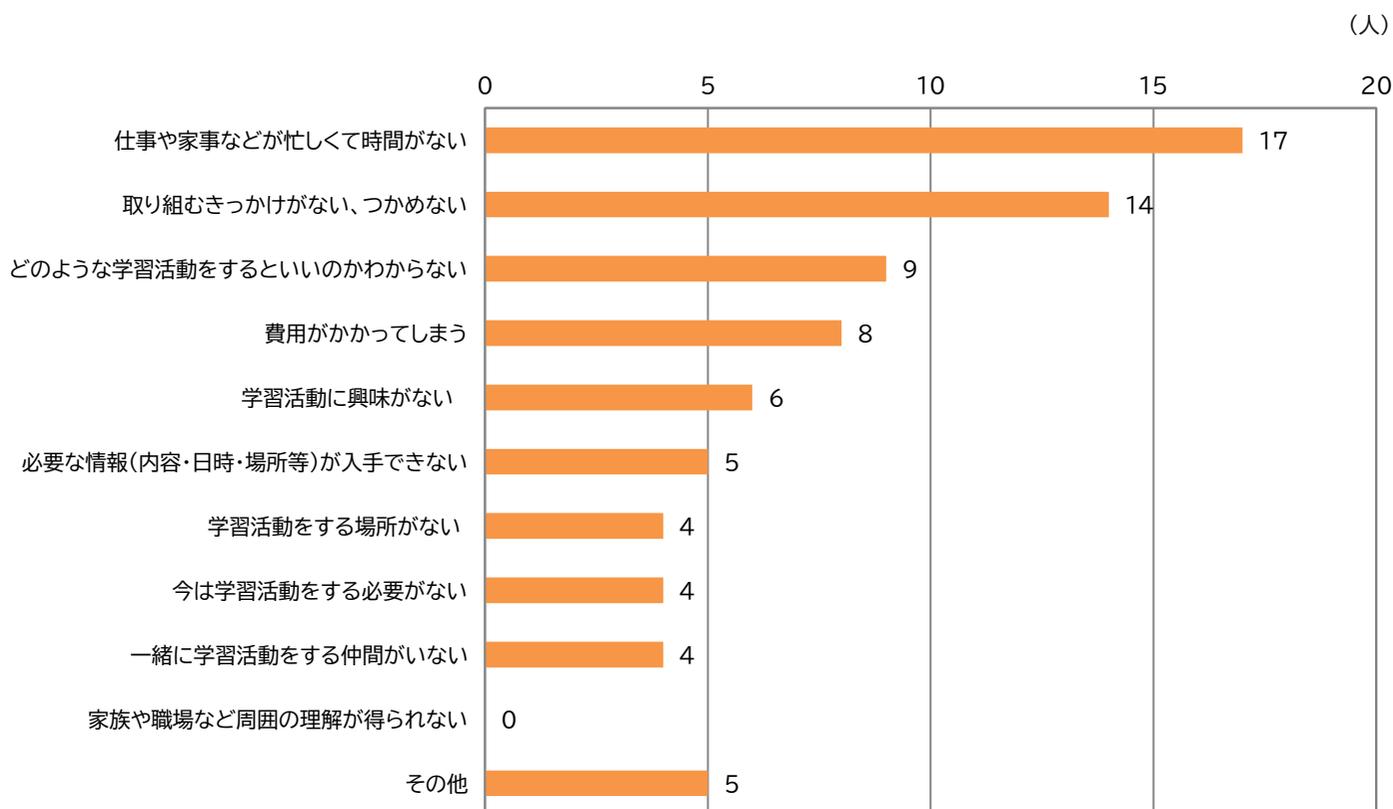


【問2】問1で、「特に何もしなかった」を選択された方にお尋ねします。あなたが、学習活動を行わなかった理由は何ですか。

(回答チェックはいくつでも。n=44)

項 目	人数(人)	割合(%)
仕事や家事などが忙しくて時間がない	17	38.6
取り組むきっかけがない、つかめない	14	31.8
どのような学習活動をするとういのかわからない	9	20.5
費用がかかってしまう	8	18.2
学習活動に興味がない	6	13.6
必要な情報(内容・日時・場所等)が入手できない	5	11.4
学習活動をする場所がない	4	9.1
今は学習活動をする必要がない	4	9.1
一緒に学習活動をする仲間がいない	4	9.1
家族や職場など周囲の理解が得られない	0	0.0
その他	5	11.4

【問2】問1で、「特に何もしなかった」を選択された方にお尋ねします。あなたが、学習活動を行わなかった理由は何ですか。

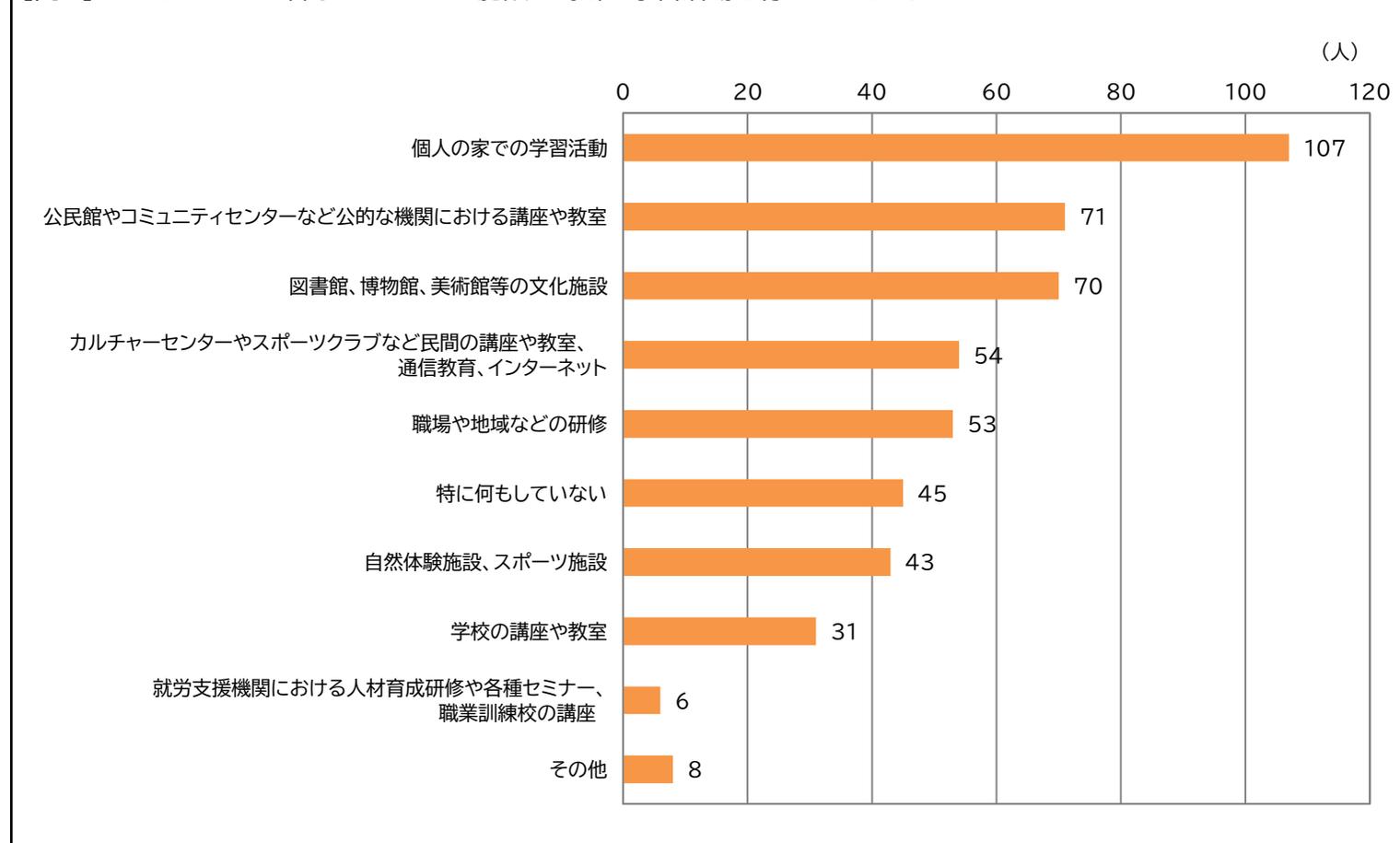


【問3】あなたは、この1年間にどのような施設や場所で学習活動を行いましたか。

(「特に何もしていない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。n=240)

項目	人数(人)	割合(%)
個人の家での学習活動(自宅を含む)※読書など	107	44.6
公民館やコミュニティセンターなど公的な機関における講座や教室	71	29.6
図書館、博物館、美術館等の文化施設	70	29.2
カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間の講座や教室、通信教育、インターネット	54	22.5
職場や地域などの研修	53	22.1
特に何もしていない	45	18.8
自然体験施設(海、山、川などの自然の中も含む)、スポーツ施設(公園を含む)	43	17.9
学校(高等学校、大学、大学院、専門学校など)の講座や教室	31	12.9
就労支援機関における人材育成研修や各種セミナー、職業訓練校の講座	6	2.5
その他	8	3.3

【問3】あなたは、この1年間にどのような施設や場所で学習活動を行いましたか。

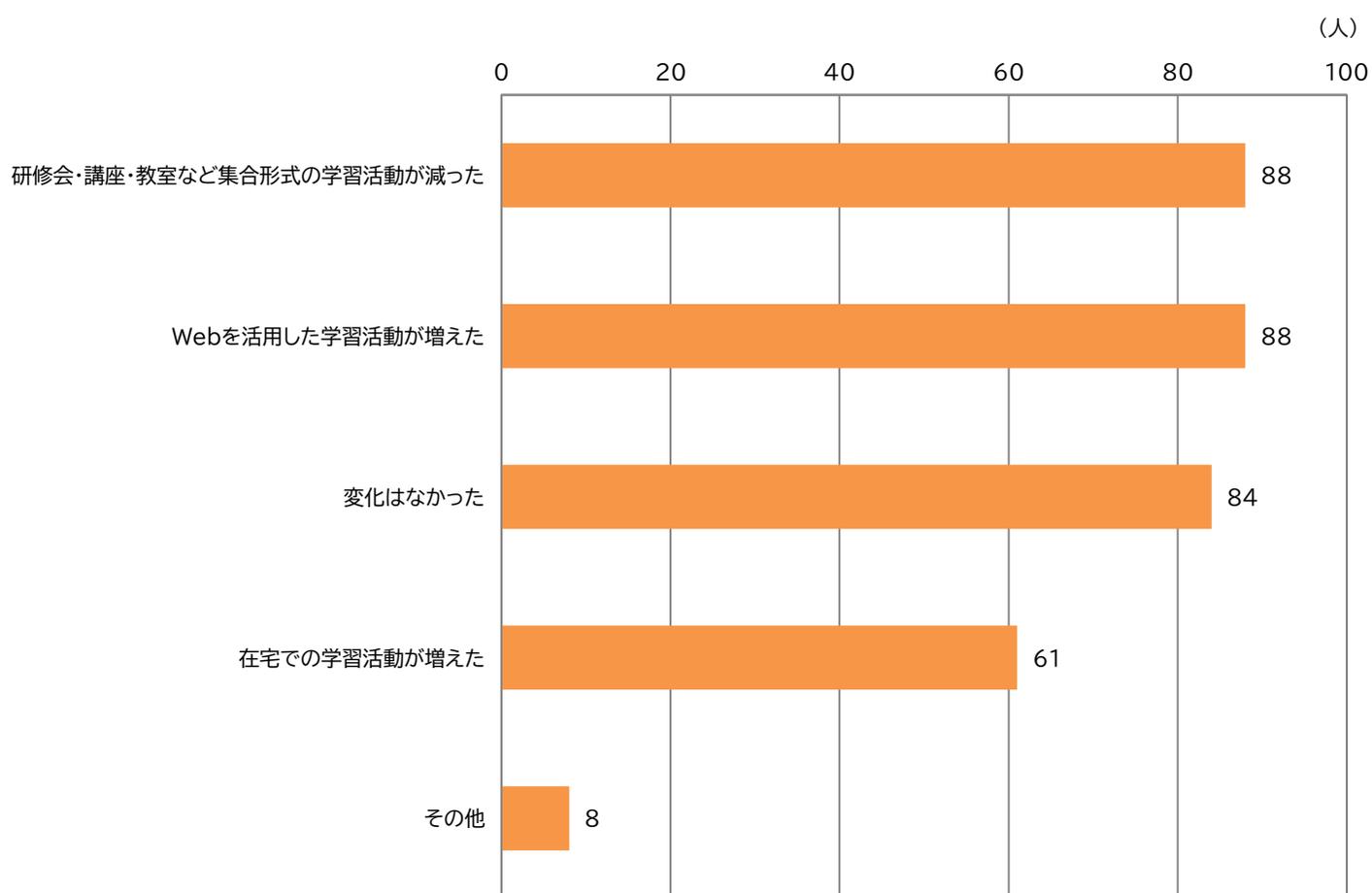


【問4】新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、あなたの学習活動に変化はありましたか。

(回答チェックはいくつでも。n=240)

項 目	人数(人)	割合(%)
研修会・講座・教室など集合形式の学習活動が減った	88	36.7
Webを活用した学習活動が増えた	88	36.7
変化はなかった	84	35.0
在宅での学習活動が増えた	61	25.4
その他	8	3.3

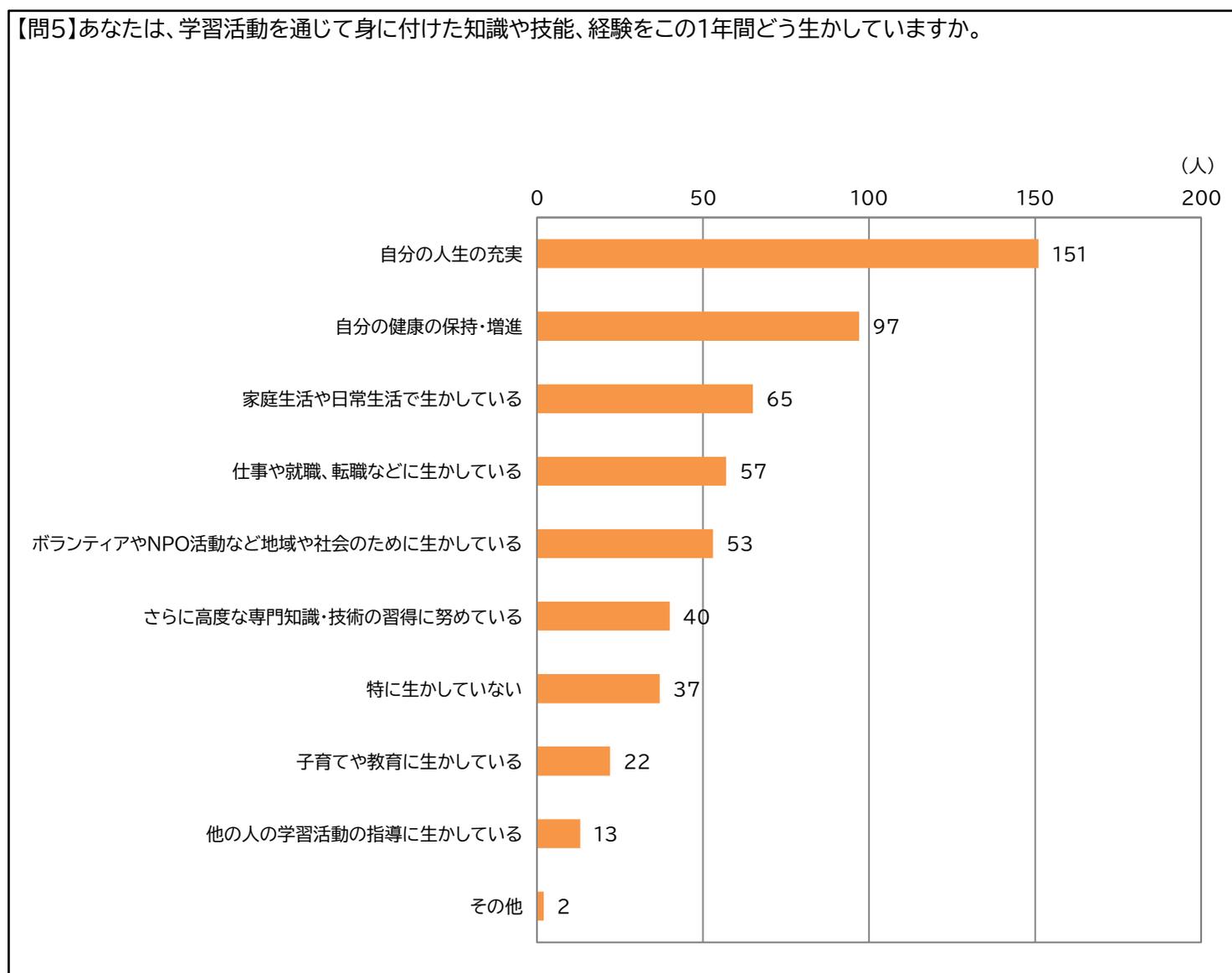
【問4】新型コロナウイルス感染症拡大の前後で、あなたの学習活動に変化はありましたか。



【問5】あなたは、学習活動を通じて身に付けた知識や技能、経験をこの1年間どう生かしていますか。  
 (「特に生かしていない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。n=240)

項 目	人数(人)	割合(%)
自分の人生の充実	151	62.9
自分の健康の保持・増進	97	40.4
家庭生活や日常生活で生かしている	65	27.1
仕事や就職、転職などに生かしている	57	23.8
ボランティアやNPO活動など地域や社会のために生かしている	53	22.1
さらに高度な専門知識・技術の習得に努めている	40	16.7
特に生かしていない	37	15.4
子育てや教育に生かしている	22	9.2
他の人の学習活動の指導に生かしている	13	5.4
その他	2	0.8

【問5】あなたは、学習活動を通じて身に付けた知識や技能、経験をこの1年間どう生かしていますか。

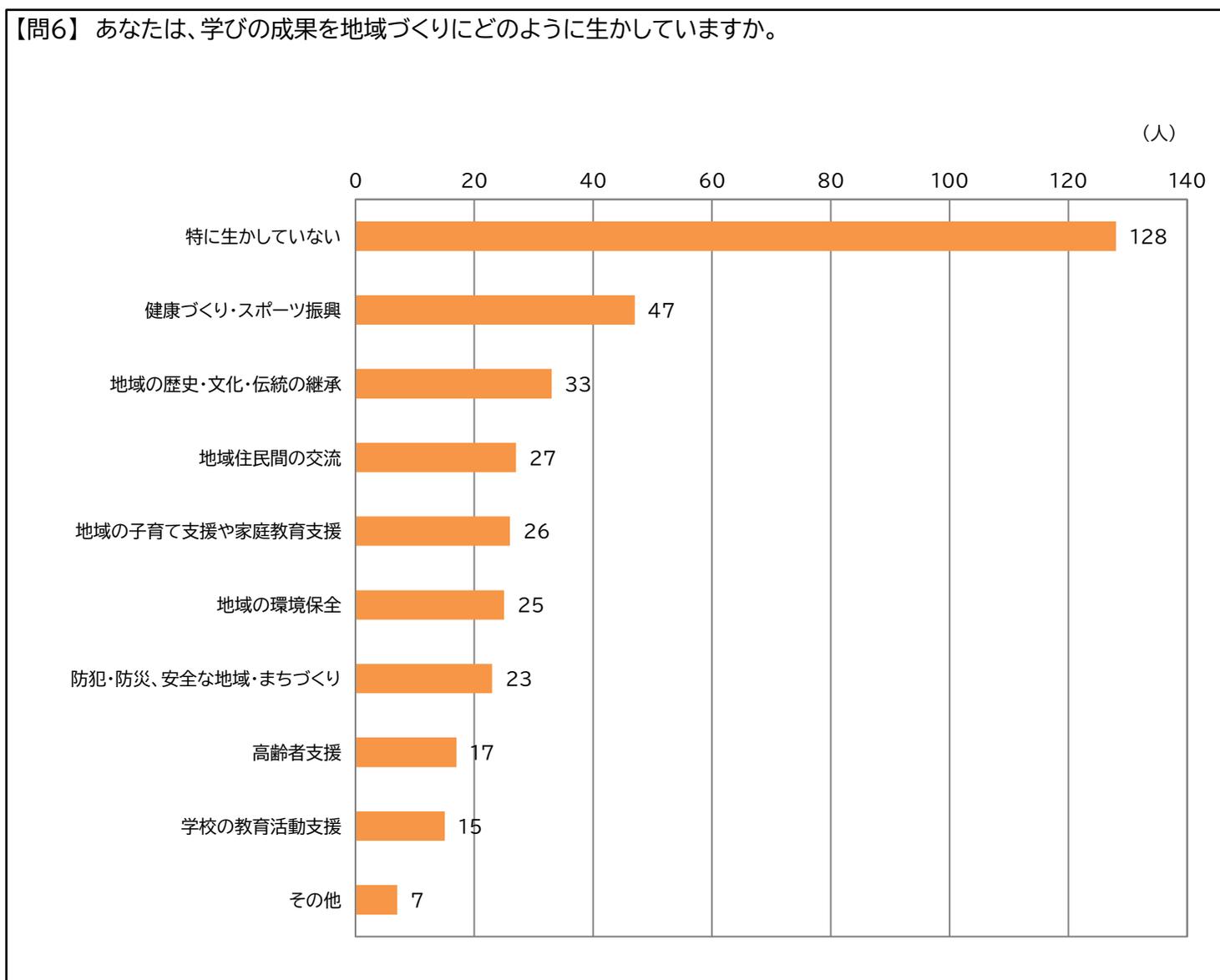


【問6】あなたは、学びの成果を地域づくりにどのように生かしていますか。

(「特に生かしていない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。n=240)

項 目	人数(人)	割合(%)
特に生かしていない	128	53.3
健康づくり・スポーツ振興	47	19.6
地域の歴史・文化・伝統の継承	33	13.8
地域住民間の交流	27	11.3
地域の子育て支援や家庭教育支援	26	10.8
地域の環境保全	25	10.4
防犯・防災、安全な地域・まちづくり	23	9.6
高齢者支援	17	7.1
学校の教育活動支援	15	6.3
その他	7	2.9

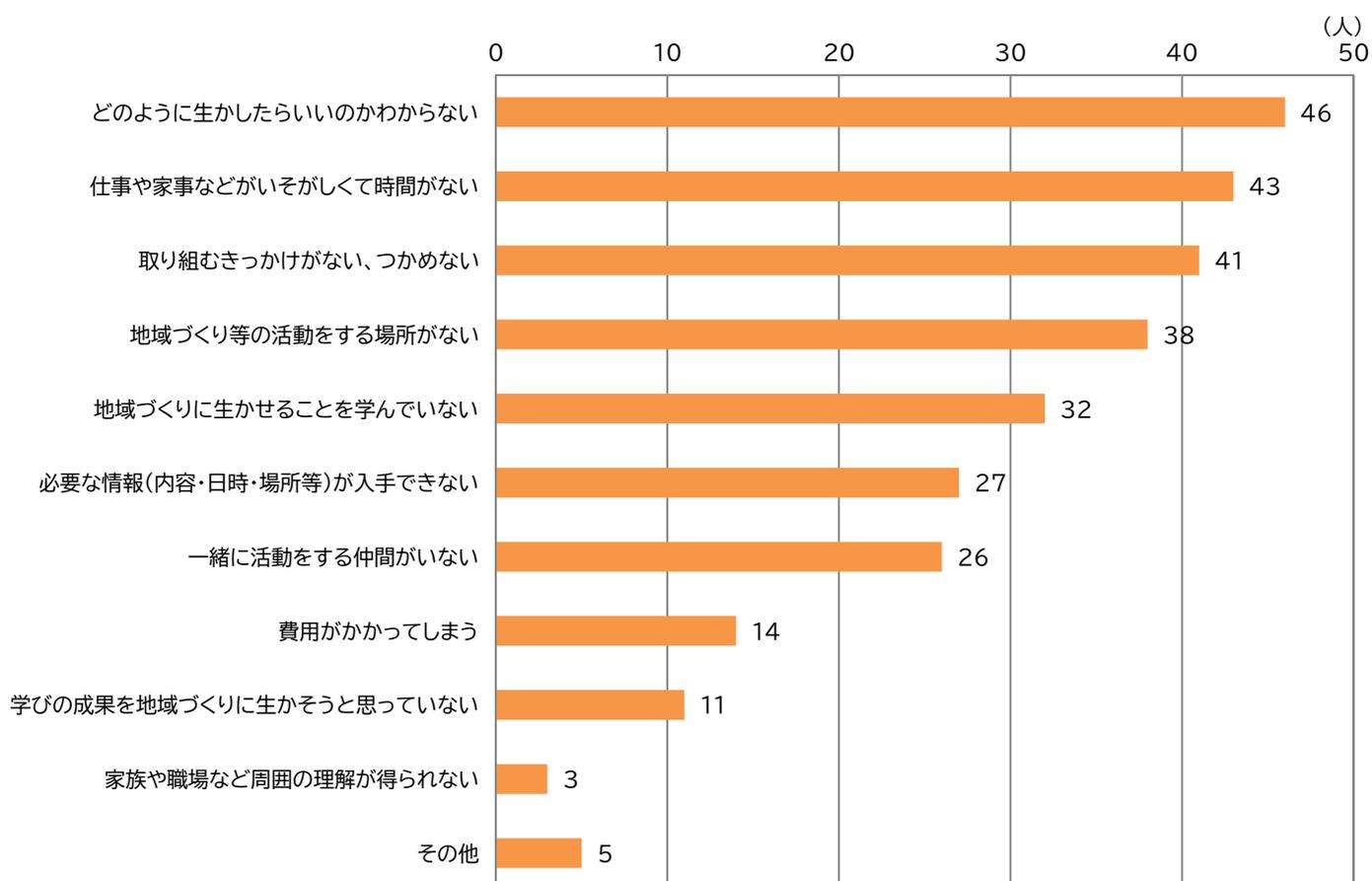
【問6】 あなたは、学びの成果を地域づくりにどのように生かしていますか。



【問7】 問6で、「特に生かしていない」を選択された方にお尋ねします。  
 あなたが、学びの成果を地域づくりに生かしていない理由は何ですか。（回答チェックはいくつでも。n=128）

項 目	人数(人)	割合(%)
どのように生かしたらいいのかわからない	46	35.9
仕事や家事などがいそがしくて時間がない	43	33.6
取り組むきっかけがない、つかめない	41	32.0
地域づくり等の活動をする場所がない	38	29.7
地域づくりに生かせることを学んでいない	32	25.0
必要な情報(内容・日時・場所等)が入手できない	27	21.1
一緒に活動をする仲間がない	26	20.3
費用がかかってしまう	14	10.9
学びの成果を地域づくりに生かそうと思っていない	11	8.6
家族や職場など周囲の理解が得られない	3	2.3
その他	5	3.9

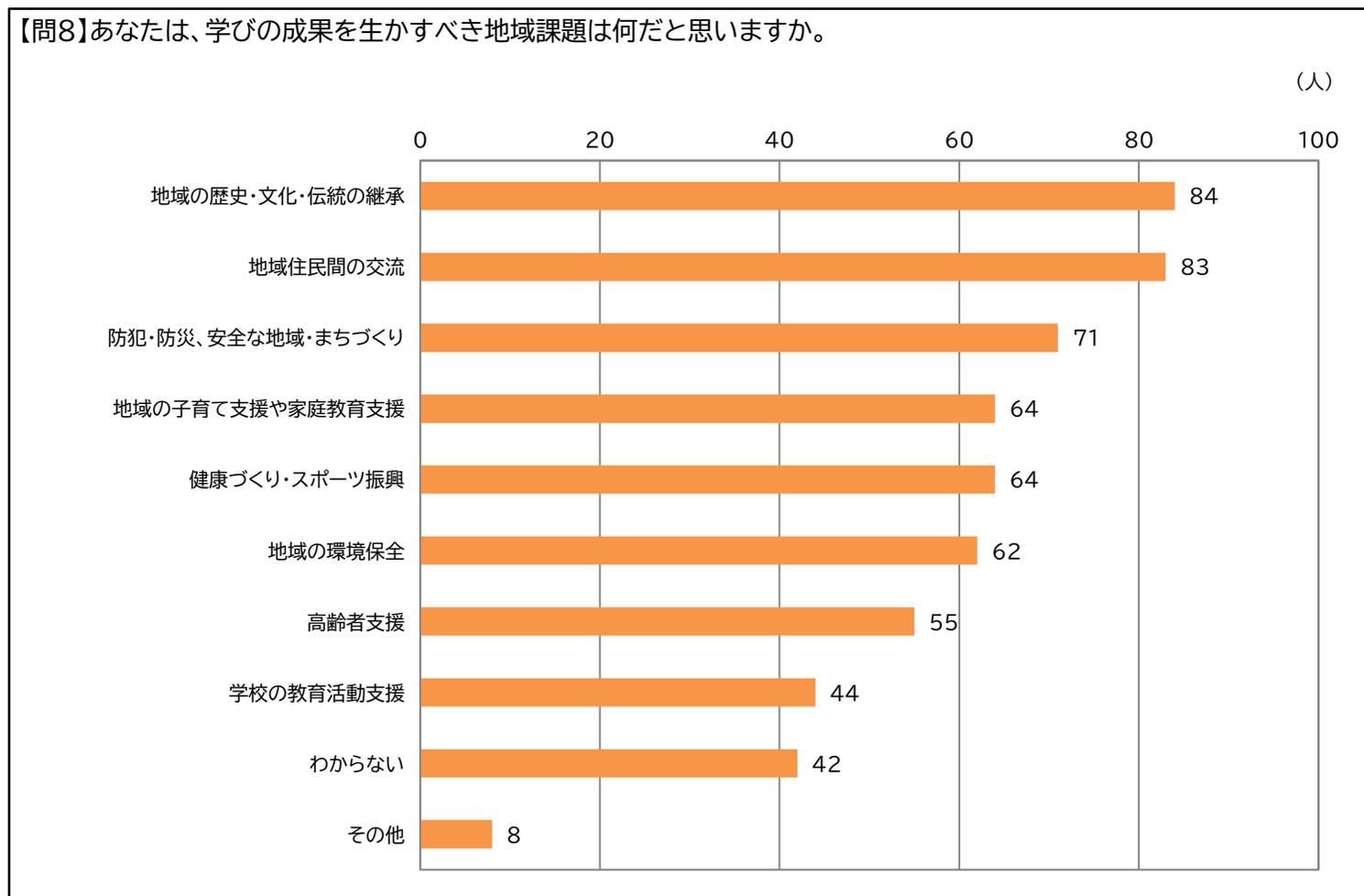
【問7】問6で、「特に生かしていない」を選択された方にお尋ねします。あなたが、学びの成果を地域づくりに生かしていない理由は何ですか。



【問8】あなたは、学びの成果を生かすべき地域課題は何だと思えますか。  
 (「わからない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。 n=240)

項 目	人数(人)	割合(%)
地域の歴史・文化・伝統の継承	84	35.0
地域住民間の交流	83	34.6
防犯・防災、安全な地域・まちづくり	71	29.6
地域の子育て支援や家庭教育支援	64	26.7
健康づくり・スポーツ振興	64	26.7
地域の環境保全	62	25.8
高齢者支援	55	22.9
学校の教育活動支援	44	18.3
わからない	42	17.5
その他	8	3.3

【問8】あなたは、学びの成果を生かすべき地域課題は何だと思えますか。

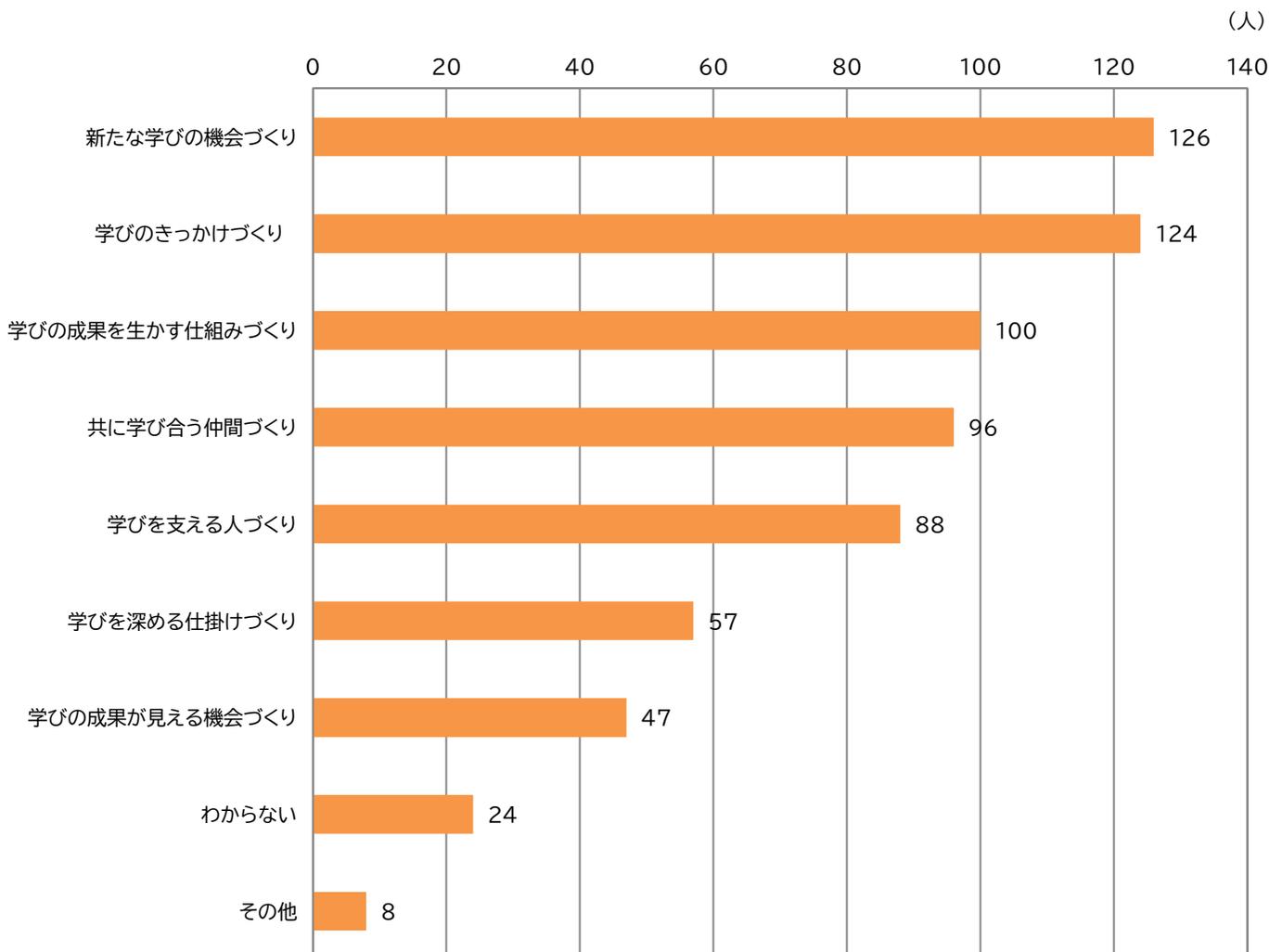


【問9】あなたは、「すべての人が学び続け、共に生きるための生涯学習を振興する」ことに向けた取組をさらに進めていくために、県が今後どのような支援に力を入れるべきだと思いますか。

(「わからない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。 n=240)

項 目	人数(人)	割合(%)
新たな学びの機会づくり(学習機会の提供、企業や行政等の新たな学習機会 等)	126	52.5
学びのきっかけづくり(ニーズに合った情報提供 等)	124	51.7
学びの成果を生かす仕組みづくり(ボランティア活動や地域活動、社会参画の機会 等)	100	41.7
共に学び合う仲間づくり(仲間づくりの場の提供、環境の整備 等)	96	40.0
学びを支える人づくり(指導者や地域リーダーの育成 等)	88	36.7
学びを深める仕掛けづくり(学習相談体制の整備・充実 等)	57	23.8
学びの成果が見える機会づくり(発表会や作品・展示展等の充実 等)	47	19.6
わからない	24	10.0
その他	8	3.3

【問9】あなたは、「すべての人が学び続け、共に生きるための生涯学習を振興する」ことに向けた取組をさらに進めていくために、県が今後どのような支援に力を入れるべきだと思いますか。

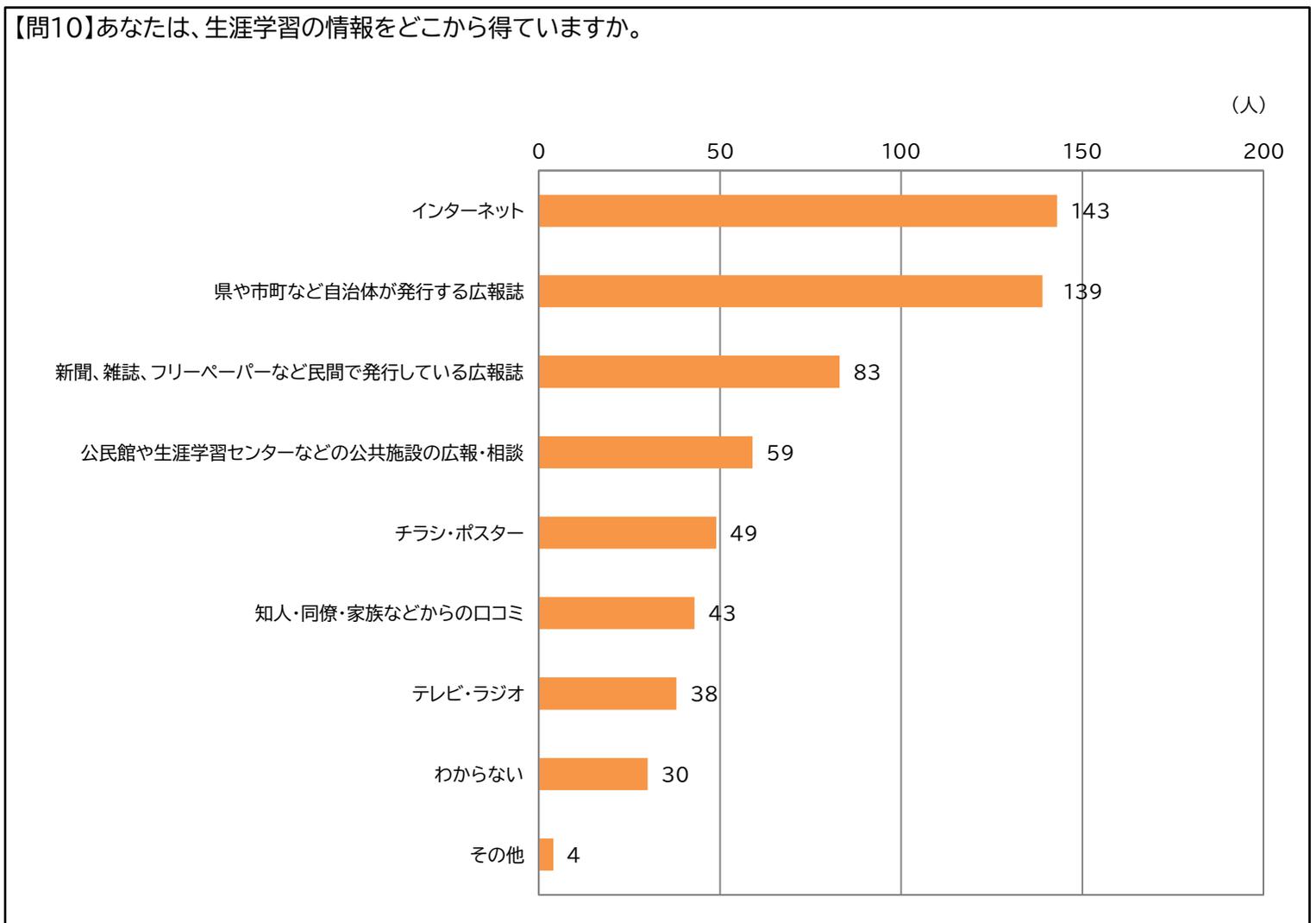


【問10】あなたは、生涯学習の情報をどこから得ていますか。  
 (「わからない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。 n=240)

項 目	人数(人)	割合(%)
インターネット	143	59.6
県や市町など自治体が発行する広報誌	139	57.9
新聞、雑誌、フリーペーパーなど民間で発行している広報誌	83	34.6
公民館や生涯学習センターなどの公共施設の広報・相談	59	24.6
チラシ・ポスター	49	20.4
知人・同僚・家族などからの口コミ	43	17.9
テレビ・ラジオ	38	15.8
わからない	30	12.5
その他	4	1.7

※「学びのメニューファイル」は、滋賀県教育委員会事務局生涯学習課が、年に2回県内の講座情報を一覧にまとめ、公民館や博物館等の公共機関に配布している冊子です。今年度は、新型コロナウイルスの影響で、講座情報が流動的であることから発行していませんが、過去に利用したことがあれば選択していただきました。

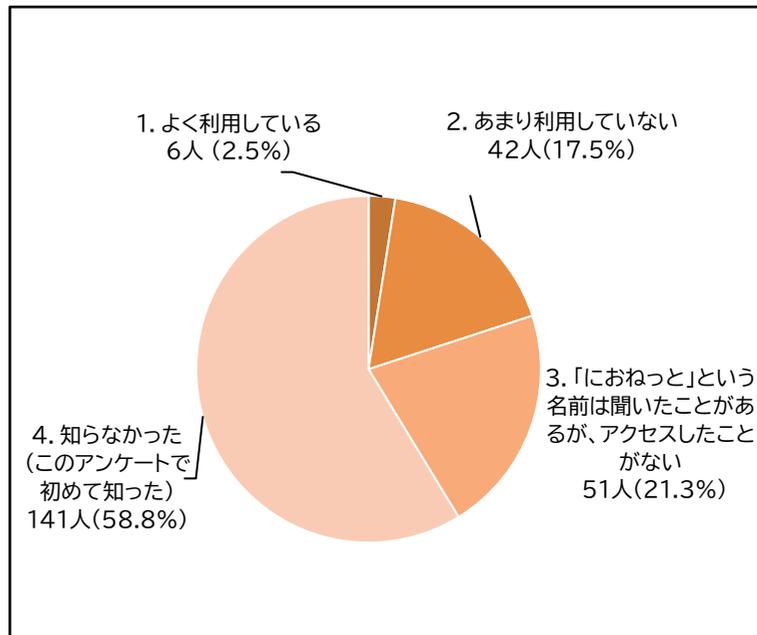
【問10】あなたは、生涯学習の情報をどこから得ていますか。



【問11】滋賀県学習情報提供システム「におねっと」を利用していますか。（回答チェックは1つだけ。n=240）

※滋賀県学習情報提供システム「におねっと」では、県民の主体的な生涯学習の取組を支援するため、県内で開催される講座や出前講座などの学習情報を提供するとともに、DVD等の県が保有する視聴覚教材の検索や貸出予約、学習相談などの受付を行っています。 <https://www.nionet.jp> または、「におねっと」で検索

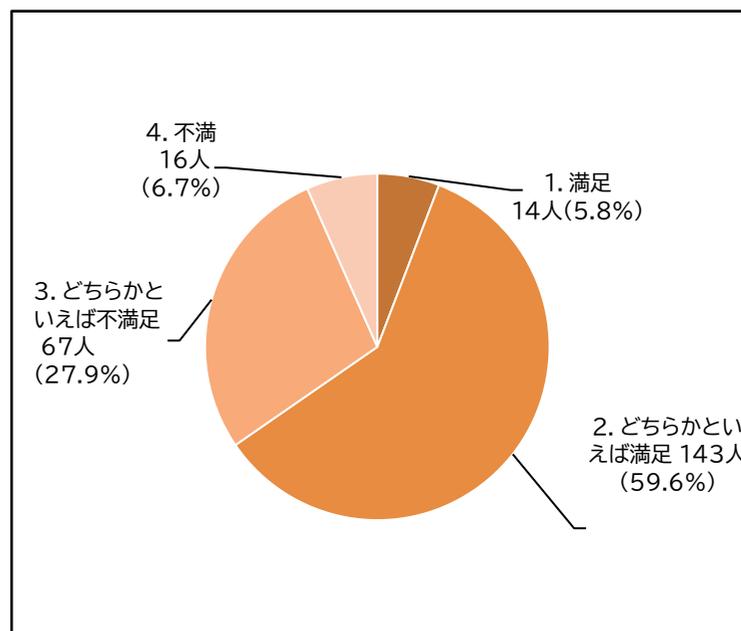
項目	人数(人)	割合(%)
1. よく利用している	6	2.5
2. あまり利用していない	42	17.5
3. 「におねっと」という名前は聞いたことがあるが、アクセスしたことがない	51	21.3
4. 知らなかった(このアンケートで初めて知った)	141	58.8
合計	240	100.0



【問12】滋賀県学習情報提供システム「におねっと」のデザイン、使いやすさについて御感想をお聞かせください。問11で「『におねっと』という名前は聞いたことがあるが、アクセスしたことがない」または「知らなかった」を選択した方も、「におねっと」にアクセスしていただき、お答えください。

(回答チェックは1つだけ。n=240)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 満足	14	5.8
2. どちらかといえば満足	143	59.6
3. どちらかといえば不満足	67	27.9
4. 不満	16	6.7
合計	240	100.0



【問13】問12の回答を選択した理由をお聞かせください。(抜粋)

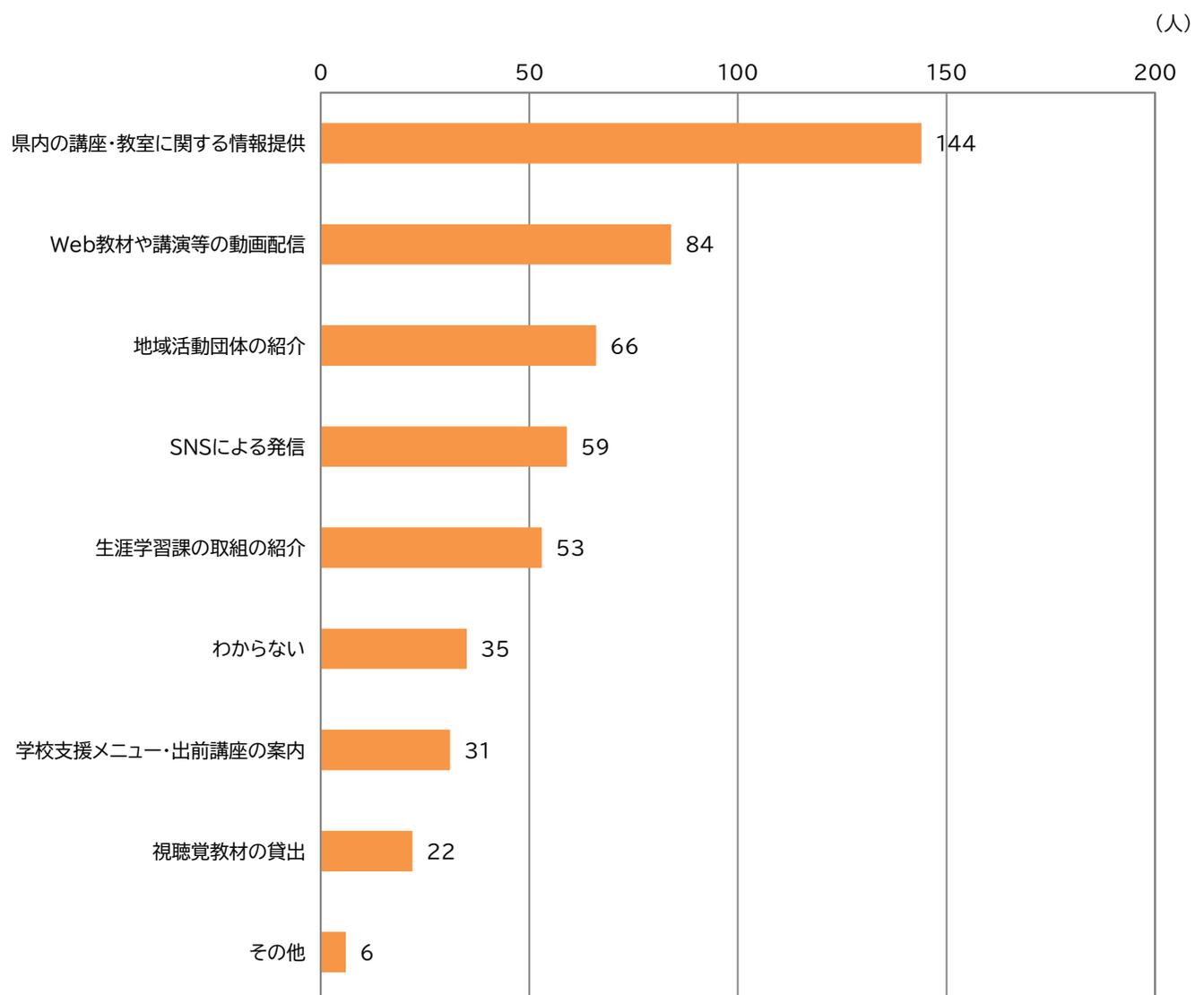
<b>1. 満足</b>
・コロナ禍で会場参加できないことが多いので、講演会や展示の様子を配信してもらえると学習が続けられて良いと思う。実際には、必要な情報はネットで検索して解決してしまうが、定期的に「におねっと」を訪問してみて、情報を得てみようと思う。今後の予定も分かれば、活用しやすい。
・このようなサイトがあるとは、知らなかった。幅広い内容であり、今後、参加、活用していきたい。
・条件を細かく入力してみたところ結果がきちんと出てきたので、かなりの情報量があると感じました。内容も十分な情報が書かれていると思いました。
・レイアウトが見やすい、アイコンがたくさん使われていて分かりやすい。
<b>2. どちらかといえば満足</b>
・研修会はいくつか開かれているのがわかり、動画で紹介されているのも内容がわかりやすく良かった。
・たくさんの情報が紹介されているのいいことだと思います。でもメニューやリンク先、PDF資料が多くて、欲しい情報を探すのが結構たいへんです。講座に関しては、既に終わった講座の案内は、必要ないのではと思います。
・項目が分かり易く、検索も良く反応してくれる。
・情報が新しく分かりやすい。
・「におねっと」のネーミングから、生涯学習を連想しにくいので、ピンと来なかったのですが、こどもと一般、地域など、興味が持てそうな講座やイベントを絞り込めるので、欲しい情報にたどり着きやすかったです。今後、折に触れチェックしたいと思います。
・全体的に分類ごとに整理されているのは良い。若干、文字が小さすぎるので見にくい点は改善要。
・内容が充実している。利用者投稿欄がある。
・初めて見ましたが、自分の興味をそそられる項目がいくつかあり、これをきっかけに新しいことにチャレンジできそうに思えました。
・明るい色を使っていて、優しい画面です。次回から使ってみようと思います。
・定年退職して早3年。認知症予防のため、日ごろからの「学びの場」を増やしている。そういう意味で滋賀県学習情報提供システム「におねっと」などは格好の教材になっていると思う。
・見たい項目をチェックしやすくてわかりやすいと思いました。
<b>3. どちらかといえば不満</b>
・ぱっと見てわかりにくかった。昔からあるありきたりウェブページのような感じでした。この際、アプリのようなアイコンなどで、人目を引き、一目で気になる情報に たどり着きやすいデザインにしたほうがいいのかと思いました。
・情報が豊富すぎて何を見たらいいのか迷う。
・居住地の講座情報を検索してみたが、内容が乏しい。もっと、講座を増やしてほしい。
・生涯学習の意味が、シニアの勉強と思っていたので、全年代の学習に関することを意味すると知って、ありがたかった。しかし、このホームページのタイトルから、自分に合いそうなものを選び出すのは困難です。単に担当範囲の仕事を、並べているようにしか見えません。
・情報量は豊富にあるような見た目であるが、そのためかどこに何があるかがわかりにくく感じた。
・スマートフォン対応でないのが残念です。
・講座内容等は種々掲載されているが、自分の必要とするものへのポイントが絞りにくい。
・自治会や地域づくり団体の活性化について、ネットでいつでも見られる講座が豊富にほしい。
・お知らせがたくさん出ていて、一生懸命発信、活動されていて、正直驚いたが、例えば「募集」とか、キーワードの索引がないのがやりにくい。欲しい情報が、探し当てにくい。
・「におねっと」のタイトルと生涯学習が結びつかない。何が学べるか分かりづらい。
<b>4. 不満</b>
・ぱっと見て、昔ながらのホームページ、という印象しかない。企業HP等を参考にして、もっと視覚に訴えかけるようなページにしたほうが良いと思う。
・そもそも参加できる講座やサービスが少ない。
・従来の枠組みが主体なので新鮮味がない。自分スキルを活かせる場が見つからない。積極的ににおねっとにアプローチする必要性がない。
・利用したことはありません、利便性をもっとPRする事が必要だと思います。
・トップページからして利用したいと思える作り方がしていない。

【問14】「におねっと」で、どのようなサービスを充実してほしいですか。

(「わからない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも。n=240)

項 目	人数(人)	割合(%)
県内の講座・教室に関する情報提供	144	60.0
Web教材や講演等の動画配信	84	35.0
地域活動団体の紹介	66	27.5
SNSによる発信	59	24.6
生涯学習課の取組の紹介	53	22.1
わからない	35	14.6
学校支援メニュー・出前講座の案内	31	12.9
視聴覚教材の貸出	22	9.2
その他	6	2.5

【問14】「におねっと」で、どのようなサービスを充実してほしいですか。



【問15】生涯学習の推進について御意見等がありましたら、お聞かせください。(抜粋)

<p>・「におねっと」のことを、今回知りました。滋賀県で、こんなにたくさんの生涯学習に関する講座や、学習支援、出前講座があることも初めて知りました。今まで、知らなかったことがとても残念です。ホームページを幅広く紹介していただいたり、図書館や公民館など公共施設で常時みることができるのなら、もっと知ることができたのと思います。アプリがあればもっと手軽に見れるのではとも思いますし、ホームページ以外でも情報提供していただければと思います。</p>
<p>・全ての年齢層の方に利用いただけるような配慮が必要だと思うので、ネット利用の仕方や、便利さの広報にも力を入れてもらい、利用者が多くなるよう努めてもらいたい。発信内容が充実していても利用できなければもったいないと感じる。</p>
<p>・70歳を超えても地域活動を通じて生涯学習に取り組もうとしていますが、その内容が少なくなじめないものばかりです。老人、シニア層が気軽に参加できるものを企画してください。</p>
<p>・たとえば、自分発信で何かを始めよう、もしくは、知り合いの高齢の方で技術や優れた趣味をおもちの方にはじめてもらおうと思っても、どのようにしたらいいのかわかりません。公民館は借りられるのか、自治会館はどうなっているのか、など。</p>
<p>・これからは、ネットの動画配信を通して学べる機会を増やしてほしいと思う。自宅でもどこにいても学べるのが望ましいと考える。そのうえで、受講者同士の交流の機会も設けることができるし、活動や学習の幅も広がると思う。</p>
<p>・働く世代への学習機会も充実させてほしい。高齢者・子育て世代以外への拡大により、まさに生涯にわたっての学習をすべきと思う。レイカディア大学の年齢制限など、早期リタイア(リタイアではないが)し、第三の人生を歩んでいる人など、年齢だけでカテゴライズできない生き方が増えていると思う。また、学習したことや自身の特技を生かせる場(特に遠方地)を充実させてほしい、県や市の施設から遠くて行けない人も多い。</p>
<p>・生涯学習は公民館のメニューが基本なので高齢者に限定的。県民の意向を取り入れた学習とはなにかを0から構築したほうがいいのでは？未来の高齢者は生涯学習に参加しないと思う。</p>
<p>・年齢が上がると共に、体力的な不安もあり行動範囲が狭くなりがちです。定期的に通えるのは、どうしても近場となります。それぞれの地域の情報の充実をお願いいたします。たまには、学習成果の発表会を他市との交流の場とするなど、県として関わって頂けると有難いです。</p>
<p>・自分に合う講座があれば受けてみたいと思う気持ちは大であり、たまに「におねっと」を見ます。しかし、自身は難聴であり受講しても聞き取れないと思います。難聴であっても理解出来るよう要約筆記が付くとか、動画配信に字幕が付けばとても嬉しいです。</p>
<p>・生涯学習の推進を図る上で、情報源としての相対価値が上がっているSNSの更なる活用が有効だと思います。具体的には、媒体の優先度の組み換え。</p>
<p>・地域活動を思い立った時に、いつでもそのノウハウや実践事例を見たいので、ネット動画配信の数を豊富にして下さい。</p>
<p>・学習したことを生かせる場所があれば持続すると思う。自分や家庭生活や日常生活では、生かせることはしやすいが、地域づくりに生かすのは、生かすところを見つけるのが、大きな課題だなあと思った。</p>
<p>・学習する場が少ないと思います、県市町はもっと機会を提供する事が必要だと思います。</p>
<p>・県の人ゆかりの講座を増やして欲しい。また、例えば、近江米レシピとか、滋賀産小麦を使ったおやつ作りとか県内の生産物とかから講座を企画して欲しい。</p>
<p>・年齢を重ねるほど生涯学習で脳活が必要と感じているが、初めの1歩が出しにくい事もあります。仲間とする学習もあれば、個人学習もあり、自由に選べて学習出来れば一番ありがたいですが費用面の心配と公的にされる生涯学習の場合は人数が少なければされない事もある。それが残念です。</p>
<p>・生涯学習というと子ども向け講座と高齢者向け講座のイメージがつよい。高校生・大学生・20代の若者が気軽に参加しやすい講座が増えるといいなと思う。若者の参加を増やすためには高校・大学と連携して学校から連絡を周知してもらう方法を取り入れると良いと思う。</p>
<p>・年齢など関係なく利用できるように、家から出られない時でも学べるように、インターネット講座などが欲しいです。</p>
<p>・各地元にある公民館などを利用して、生涯学習の推進はもとより、Webセミナーなどでの動画配信は今後とも積極的に展開して欲しい。</p>
<p>・高齢者向けではなく、若年者にも有用な情報の提供を願います。</p>
<p>・個人の活動は別にして、地域団体の活動はコロナ禍が収まれば、県内の他の地域で行われている諸活動を参考に地元の老人会で学習等を実践したく思います。</p>
<p>・学習した内容を発揮する場も合わせて紹介して欲しい。発揮する場があれば、学習意欲も増すと思います。</p>